

研修等報告書

沼田市議会議長 様

平成31年 3月29日

会派外議員

氏名： 井上 弘

政務活動費を使用した研修等について、下記のとおり実施しましたので報告いたします。

記

1	期 日	平成31年1月24日(木)～25日(金)
2	場 所	1月24日 東京駅八重洲カンファレンスセンター 1月25日 東京駅八重洲カンファレンスセンター 衆議院第一議員会館
3	研修等の テーマ	1月24日：地方議員研究会研修 公共施設について 1月25日：地方議員研究会研修 公共施設について 国土強靱化基本計画勉強会
4	参加議員	井上議員
5	研修概要	①研修目的、②研修内容等を記入(別紙で研修資料及び写真等を添付)
概 要：24日 研修 地方議員研究会研修 講師 東洋大学客員教授 南学 氏 ・財政問題としての公共施設マネジメント 25日 研修 地方議員研究会研修 講師 東洋大学客員教授 南学 氏 ・公共施設マネジメントから始まる本格的行政改革 研修 国土強靱化基本計画勉強会 ・国土強靱化基本計画の現状と諸関連事項の詳細について		

6	所 感	研修後の考察(感想、政策提言、本市にどのように活かせるか など)を記入
1月24日、25日 地方議員研究会研修		
<p>所 感：公共施設等総合管理計画の実践について学んだ。古くなった公共施設が起す事故により市民の生命・財産が脅かされることがあってはならない。また、事故により職員が罪に問われる可能性もあり、壊れるまで大丈夫と簡単に考えていい問題ではない。</p>		
<p>公共施設の統廃合については、総面積の統廃合だけにとらわれず、民営化による経費圧縮、受益者負担増、遊休資産活用なども考慮し、単純な面積圧縮にならないように注意し財源を確保する必要がある。</p>		
<p>公共施設の包括保守点検委託により、安全管理の責任の所在がはっきりさせることができ、コスト削減にも繋がる。また、部局の縦割りを超えて管理できるため、課ごとに契約内容が違って来るなどの問題も回避できる。</p>		
<p>公共施設の役割を再検討することで、なくてはならない基幹施設とあった方がよりよい交流施設に分けることが可能。これまで分離していた両者を融合させていくことで、機能・役割の拡大ができる。</p>		
<p>快適な空間ができることで、人が集まる。人が集まることで、そこにビジネスが成り立ち、コミュニティが成り立つ。重要なのは人が集まる居場所づくり。</p>		
<p>公共施設の利用率については、単純に年間利用日数や利用者が何人といった考え方ではなく、稼働可能時間のうち実稼働時間は何時間なのか？使われていない時間帯については別の活用方法がないか？実際に利用している住民は何人なのか？など細かく分析した上で、本当の必要性を検討していく必要がある。</p>		
<p>また、どれだけ利用率が高くても、施設が一部の住民にしか利用されていないのであれば、市民全体のための施設ではないのではないかと。受益の偏在が大きいのであれば改善していかなければならない。利用者を増やしていく努力とともに、統廃合の検討が必要である。</p>		
<p>子育て世帯、中高生、年金生活男性など、公共施設に居場所がない市民層の居場所をつくることで、コミュニティを形成することができる。</p>		
<p>民間資金を活用していくためにも、交流施設部分などのリース、賃借なども考えられる。様々な面を考慮し公共施設等総合管理計画を進めていかなければならない。面積縮減だけにとらわれず、削減のための削減にならないよう、どうすることで財源が確保でき、市民のためになるのか常に考えながら計画を進めていく必要があると感じた。</p>		
1月25日 国土強靱化基本計画勉強会		
<p>所 感：公明党群馬県本部顧問 岡本三成衆議院議員同席で勉強会を行った。</p>		
<p>内閣官房より、国土強靱化基本計画の現状について説明を受けた後、国土交通省、農林水産省からそれぞれの所感の取り組みについて説明を受けた。</p>		
<p>計画を進めていく中で求められる議員としての役割は、いかに首長の意識を高められるかである。計画があっても、それに対して補助が出るわけではないので、市としての危険性を把握するために計画を作り、個別の事業を実施する必要がある。</p>		
<p>計画作成が目的とならないよう、最終的に目指す市の形を明確にしておく必要を感じた。</p>		